

種別	No.	質問	回答
募集要項	1	賞金、各種権利譲渡の対価、関連業務委託費の3つは払いますか？もらえるのですか？	最優秀賞の受賞者には、各種権利譲渡の対価として「基本デザイン委託料」を事務局よりお支払いします。また、受賞者が関連業務を受託される場合、「関連業務委託料」も事務局からお支払いします。詳細は募集要項p.6の「12.結果発表・各賞」をご確認ください。
	2	応募点数について、複数応募は可ですか。	募集要項p.4の「8.制作条件(3)注意事項」に記載のとおり、応募点数は1人1点までとし、個人またはグループのいずれかでご応募ください。
	3	ひとり何通まで応募可能でしょうか。	
	4	一人が複数の案をご提案するのは問題ないでしょうか？	
	5	一人につき、何作品まで応募可能でしょうか。	
	6	郵送にて応募する場合、デジタル作成したものを用紙にコピーし指定の応募用紙に貼り付けて提出することは可能ですか。	
	8	ロゴに求めるものは何ですか？	募集要項p.5「10.審査基準」を参照してください。
	9	シンボルマーク&ロゴのセットで応募したとき、シンボルマークのみ採用という可能性はありますか？	原則としてセットでの採用を想定していますが、グッズ等への展開やサイン計画の都合上、ロゴを含めたデザイン調整を行う場合があります。受賞者の意向を踏まえて調整を行います。提案されたデザインから変更があることもご承知おきください。
	10	「シンボルマーク&ロゴのセットで応募」の場合と「シンボルマークのみの応募」で、どちらかに審査上の優位性はありますか？	審査には影響しません。
	11	Googleアカウントを独自ドメイン（****@会社名.co.jp）で取得していますが、それを応募時のGoogleアカウントとして使用して問題ありませんか？	問題ありませんが、設定で組織外のユーザーとのファイル共有が制限されている場合、フォームへのアップロードができません。事前に確認いただくことを推奨します。
	12	応募は個人又はグループとの事ですが、株式会社が応募することは可能ですでしょうか。	募集要項p.2「4.応募資格」に「個人、法人、団体いずれも可」としており、可能です。
	13	株式会社として応募する場合、社員が3人いるのですが、3点応募することはできますか？	社員3名で3点応募される際は、個人で一点ずつ応募をお願いします。 応募用紙の「※グループ（法人含む）での応募時は記入」欄は空白とし、会社名は「応募者情報」の「所属」に記入してください。
	14	No.13ができない場合、株式会社としてではなく、個人で3人が一点ずつ応募するのは良いでしょうか。	

種別	No.	質問	回答
説明会	15	Zoom説明会の録画をいただきたいのですか可能でしょうか。（予定が合わずリアルタイムで見られなかったため、）	5月18日からプレサイト内で公開しています。
	16	昨日行われました事前説明会、拝聴いたしました。こちら動画のアーカイブを視聴したいのですが、どちらから見ることができますでしょうか？	
	17	オンライン説明会で見せて頂いた、パースのムービーは後日見られるとの事ですが、どこかにアップされているのでしょうか。	
	18	本日の説明会で使用されたコンセプトの図等の資料をWEBに上げていただけないでしょうか。	
美術館事業	19	美術館のコンセプトは何ですか？	鳥取県立美術館整備基本計画では、美術館の目的として「次代を担う子どもたちを中心とした『人をつくる』場としての役割」、「地域とつながり賑わいを創出することでまちづくり・地域活性化に貢献する『まちをつくる』拠点としての役割」、「県民一人ひとりが主体的に関わる『県民がつくる』機会としての役割」を掲げています。そして、多様な「つくる」活動が展開される「未来を『つくる』美術館」を目指しています。詳細は鳥取県立美術館整備基本計画p.5「第2章 新美術館の目的・コンセプト」を参照してください。
	20	鳥取県立美術館のコンセプトを、もう少し詳しく知りたいです。 訪れた人たちが集う場所があって、人と人との繋がりが気持ちの良いものになるという印象は伝わってくるのですが、美術品との関わりが何を指しているのか？ 美術館は、鑑賞するだけの場所ではなく、人々が豊かに交わる場所であって欲しいということなののでしょうか？ あるいは、芸術はある特定の鑑賞者のものではなく、多くの人たちに芸術の良さをわかってもらい色々な意味で皆さんに影響を与え、素晴らしい文化を育む原動力になって欲しい、とうことなののでしょうか？	鳥取県立美術館整備基本計画p.5「第2章 新美術館の目的・コンセプト」において「新たな美術館のあり方の方向性」として挙げている5つの方向性のうち、美術作品との直接的な関わりを通じて目指すものとして以下の3つがあります。 ・「とっとりのアート」の魅力を知り、大切に守り、誇りを持って県内、県外そして世界へと発信するとともに、より多くの人々に内外の多彩で優れたアートに触れる機会を提供する。 ・人々が思い思いに楽しみと夢と喜びを見出し、次代を担う子どもたちが優れたアートと出会い、想像力や創造性をはぐくむ場所とする。 ・アートによって街を目覚めさせて文化的感性の高い賑わいのある地域づくりに貢献する。 鳥取県立美術館は、以上を念頭に置いた活動を行うことにより、鑑賞するだけの場ではなく「アートを介して、様々な人々が交流する場」になることを目指しています。 また、アートは全ての世代の人々に様々な刺激を与え、影響をもたらす力、可能性を持っているものと考えており、そのようなアートに一人でも多くの人々が出会い、その想像力や創造性を育むことができる場となることを目指しています。
	21	常設展はどんな作品を展示の予定でしょうか。	鳥取県立美術館のコレクション（所蔵品）を展示します。 鳥取県立美術館のコレクションは、鳥取県立博物館が収集してきた美術分野のコレクション約10,000点を引き継ぎ、鳥取県にゆかりのある優れた美術作品を中心としつつ、広く国内外の優れた美術・文化へと収集範囲を広げ、同時代の美術の動向を示す作品やコミッションワークとあわせ、継続的にコレクションの充実を図ります。 現在の鳥取県立博物館の美術分野コレクションは、横断検索システム「とっとりデジタルコレクション（通称・とりデジ）」でご覧いただけます。 ※現在システム改修につきおすすめの50作品のみ公開。開館までに順次公開準備を進めています。 詳しくは、プレサイトにある「どんな美術館なの？」をご確認ください。

種別	No.	質問	回答
美術館事業	22	鳥取県の作家について、教えてください。（常設予定の作品など）	<p>No.21をご参照いただくとともに、鳥取県立博物館が所蔵している作品のうち、各分野における鳥取県ゆかりの代表的な作家は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸期から現代までの日本画：土方稲嶺、沖一峨、小早川秋聲、菅楯彦、中島菜刀など ・明治期から現代までの油彩画：前田寛治、笹鹿彪、伊谷賢蔵など ・版画：橋本興家、野崎信次郎、岡村吉右衛門など ・彫刻：辻晉堂、山本兼文、長谷川塊記、中ハシクシゲなど ・工芸：瀬戸浩、生田和孝、前田昭博など ・書：岡田機外、大淵碧晴、岩垣翠城など ・写真：塩谷定好、岩宮武二、杵島隆、植田正治など
	23	鳥取県立美術館を運営していくにあたり、最も大切にしたい信条（複数あって大丈夫です）	<p>めざす美術館のイメージとして、① 毎日来ても楽しい、何かと出会える美術館、② アートを身近に感じられる、鳥取らしい美術館、③ 県民の“あったらいいな”でつくる、アートな日常、④ 皆さんが主役となれる“しくみ”や“機会”を準備段階からつくり育むを掲げています。詳しくは、プレサイト「どんなことができるの?」をご確認ください。</p>
	24	鳥取県の特産物、歴史、観光名所、など	<p>以下のサイトを参考にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県の特産物 https://www.pref.tottori.lg.jp/69854.htm ・鳥取県の歴史 https://www.pref.tottori.lg.jp/70037.htm ・鳥取県の観光名所 https://www.tottori-guide.jp/